

No.06 四季のおたより

【心を静めて書を楽しんでみてはいかがでしょうか。】



明 けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。今回は、新年を迎えたということで『書き初め』についてご紹介します。書き初めは、日本の伝統的な文化の一つで、文字や言葉に対する深い尊敬と感謝の意を表す行事です。主に新しい年を迎える際や特別な祝い事の際に行われることが特徴です。文字には、書き手独自の個性や感性が反映されます。筆や墨、紙などの素材にもこだわりがあり、とても繊細な作業です。書き初めは、単なる文字の表現だけでなく、心の奥深くに秘めた思いを伝える素晴らしい手段と言えます。書き初めを行うことは、文字や言葉の美しさを追求するだけでなく、心の中の感謝や願いを表現する特別な機会でもあります。子供の頃に皆様が経験している書き初めですが、大人になってから挑戦するとまた違った感覚を味わえると思います。

No.07 新原今昔さんぽ

Episode.7
【甘い実りは風の化身「ヤンゾーコンゾー」】

浜 北区では、江戸時代から庭木を中心とした植木や苗木の栽培が盛んに行われてきました。その理由は、植木の成長に適した「やせた土地」であるためです。栽培の中心である新原地区は、天竜川西岸の河岸段丘に位置し、湿気が少なく水利が良くありません。こうした環境では、土の中の少ない水分や養分を吸収するために根の先端の細根がよく発達し、十分に細根が育った木は移植後に根付きやすくなるそうです。農地には不向きでも、植木の栽培にはもってこいだったのです。新原周辺の植木産業は、現在にも受け継がれています。

ぶようになったことが、イヌマキの名の由来です。ただし、ここ遠州では、ホソバという方言のほうに馴染み深い人が多いかもしれません。ホソバは防火防風効果が高いため、ホソバ囲いという生垣を持つ家屋が今も多く見られます。

常緑のホソバの中に、二つ連なる小さな玉がぼつりぼつりと見えだすと、秋の始まりのサインです。ホソバは裸子植物なので実はありませんが、緑色の種子に花托（花卉や雌しべなどを付ける部分）がくっついた形がこけしにそっくり。花托は柔らかなゼリー状で、赤色になると甘い味がするのです。そして、このこけし、遠州ではヤンゾーコンゾーとも呼ばれています。なんと不思議な響きですが、その由来は滋賀県と岐阜県にまたがる、伊吹山にあると言われています。

伊吹山は古くから神が宿る霊峰とされる山です。山麓には、山から吹き下ろす強風を利用して、銅や鉄を精錬する鍛冶の集団が発達しました。彼らは製鉄に欠かせない風を伊吹山に巨人伝説として伝わる「伊吹弥三郎」の風と呼び、崇めて

いました。この弥三郎の風は、濃尾平野を渡り、遠州平野に入ると遠州の空っ風となります。空っ風が吹く頃に熟すホソバは弥三郎の化身と考えられ、ヤンゾーコンゾー（弥三郎の小僧）と呼ばれるようになったというのです。

遠い霊峰から届く季節風が方言に変化し、今も語り継がれている……。これからも我々の記憶に残したい言葉ですね。



イヌマキの実

青い実は毒があるので要注意



強い風から家を守る生垣

★
さて、新原には市指定天然記念物の巨木「新原の大マキ」というイヌマキの木があります。イヌマキは日本原産で、関東南部より西の太平洋側に自生する雌雄異株の常緑針葉樹です。別名には、マキやホンマキなどがあります。昔はスギを本物の木（真木）と呼び、こちらを偽物と考えて、犬（役に立たない）真木と呼

参考文献：野口英昭著「静岡県 木と実の方言」

天星 Magazine

[テンボシ マガジン]

vol.13

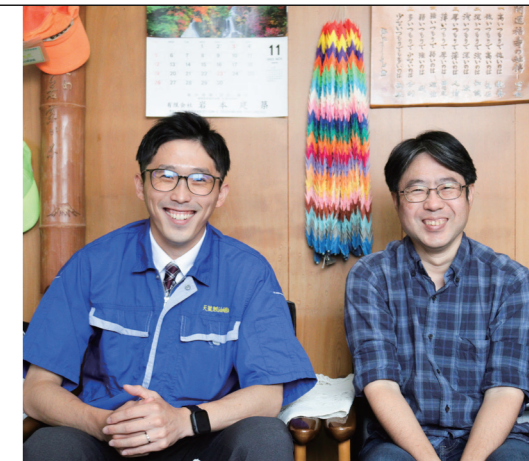
Jan. 2024

No.01 編集長カワイのご近所探訪記 file#08

★ 江間 充祐さん

浜北生まれの極小折り紙作家。2mm 四方の紙で作った折り鶴などは各メディアから絶賛されています。

いつでもどこでもできる手軽さがいいと折り紙の魅力を語っていただきました。



川合：小さな折り鶴を始めたきっかけは何だったのでしょうか？

江間：幼い頃、放送されていたテレビチャンピオンで『小さな折り紙を折る』企画があり、自分でも折れるのではないかと思いやってみたことがきっかけです。始めは、全然できませんでしたが、枚数を折っていくと気づいたらできるようになりました。

川合：なぜこのように折り紙を極めていったのですか？

江間：当時のギネスブック日本語版の巻末に、出版社が独自に集めた記録として『日本一小さい千羽鶴』が9mmというものを見かけました。高校生の頃に折っていたものが10mmでしたので、「あと1mm小さければ日本一かぁ」と思い大学生の頃には7mmに挑戦していました。日本一の記録保持者が6mmを完成さ

せ、4.5mmに挑戦しているという噂を聞き、対抗心を燃やし4mmに挑戦しました。その後テレビに取り上げてもらったり日本一の称号を頂けたりしました。

川合：一番小さくて何ミリの鶴を折れるのですか？

江間：2mm四方の紙で折った物が一番小さいです。3mm以下の物ですと正直、肉眼だとパッと見何か分からないと思います。最近では10mmや5mmの物でも十分感動してくれるので、限界まで小さいものに挑戦するより、見て感動してもらえる綺麗な折り鶴を作る事を心掛けています。

川合：折るときは道具などを使って行うのですか？

江間：一切使いません。鶴を見るのも裸眼で行います。爪の先を尖らせることや平らに切ることによって、



1円玉と千羽鶴の大きさを比べてみました！

爪の形を利用して鶴を折っています。対談の中で江間さんは、「頑張らずにやり続けることが大事」だとおっしゃっていました。集中して折るというよりは、頭の中を鶴の事で占領して集中していく感じで、欲張らず、頑張らず、気楽に眠つぶし程度感覚で行うことこそ上達の秘訣だということです。頑張ることで自分を追い詰めるのではなく、気楽にやることでこそ伸びる技術や才能があると感じさせていただきました。

< 発行 >

< HP >

天星製油株式会社

検索



〒434-0003
静岡県浜松市浜北区新原 3833-1
TEL : 053-586-9911
http://www.tenboshi.com/

天星Magazine vol.13 2024年1月号

※この冊子が不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルにご協力ください。

No.02 天星 News Topics

今号から編集長になりました。よろしくお願いたします。



編集長
カワイ

11月10、11日に『第13回産業振興フェアinいわた』というイベントに参加しました。「次世代技術で産業構造を転換」をテーマに磐田市のアミューズ豊田で開催されました。当社を含め、静岡県内の企業や大学など多数がブースを設け参加しました。私たちのブースは、環境問題についてスポットを当て、弊社事業の説明を行いました。弊社での燃料の精製は、廃油（使用済みの油）を原料としているため、**原油からの燃料精製に比べ環境に対する負荷が少なく済みます。**これにより環境にも優しい事業を行うことが出来ております。ブースを訪れていただいたお客様は、熱心に私たちの話を聞いてくださいました。これを機に、今後、少しでも多くの方が環境問題に関心を持っていただければ、大変素晴らしいことだと思っています。



No.03 「旬」な天星スタッフご紹介！



宮崎 啓徳
精製課

Q お仕事内容は？
ろ過という技術を応用して、汚れた油を綺麗にしています。油によって性質が異なるので、油の見極めや溶剤の調整にやりがいを感じます。最近では仕事が増えてきたため、工場作業全般に関わっています。

Q 最近のトピックスは？

旬な食材を沢山食べることです。秋ですとレンコン、ゴボウなどの根菜類ですね。きんぴらや炊き込みご飯にしたりしていただきました。料理を作るのが好きで、最近ですと煮物を作るのにハマっています。休日には料理を作って愛猫とゆったりほっこりしています。

Q これからの抱負をお願いします！

将来的にフランス料理のフルコースを作りたいと思っています。フランス人は、男性が調理場に立ち、全部作って振る舞うと耳にしました。日々食べたいものを作りながら腕を磨いていきたいと思っています。



田中 征彦
営業2課

Q お仕事内容は？
静岡市、焼津市全域で廃油の回収、運搬作業を行っています。7時には会社を出発し、8時から現地で作業できるよう業務に励んでいます。運転は好きなので自分に合った仕事だと感じています。

Q 最近のトピックスは？

毎日、似たような日々を送っていますが、先日家族で旅行に行きました。箱根の大涌谷に行き、ロープウェイに乗ってきました。自分は高いところが苦手なのでとても怖かったですが、子供たちはとても喜んでくれました。動物園や水族館も子供たちが好きなのでよく行っています。

Q これからの抱負をお願いします！

自分の趣味は楽器で、高校の時からドラムをやっています。一緒にやる仲間はいるのですが、みんな子育てがあったり、日が合わなかったり現在活動していません。子育てが一段落したらまたチームで楽器をやりたいなと思っています。

No.04 環境よもやま話 【PART1】



★ 鎌田 俊己さん

鎌田環境コンサルタント
鎌田行政書士事務所
昭和28年生まれ70歳
ニックネーム▶かまちゃん
住まい▶磐田市内
趣味▶旅行・観賞魚飼育
好物▶スイーツ

今 回から新たにコラムを寄稿させていただきますことになりました。環境にまつわる話題を分かり易く提供させていただきますので、ご愛読いただきますようお願いします。初めてですので経歴紹介を兼ねて自己紹介をさせていただきます。現役時代は浜松市役所で環境関係の業務に長い期間携わっていました。環境保全（公害）行政を16年間、産業廃棄物行政を19年間担当しましたので、役所内の他の部署はほとんど知らないという環境部門一辺倒の偏った世界で過ごしてきました。定年退職後、環境行政に携わった経験を活かせる仕事はないかと考え、個人事業として環境コンサルタント業を開業しました。天星とコンサルタント契約を結び、廃棄物処理に係る課題について助言・指導をさせていただくという立場で関わらせて頂いています。天星のほかに、県内数社の産業廃棄物許可業者とコンサル契約を締結しています。皆さんの中には、「産業廃棄物処理」というと、どこかダークなイメージをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、法規制

が強化された現在では、悪徳業者は淘汰され、リサイクルを中心とした産業廃棄物処理が行われています。私が実施している業務の中身としては、中心であるコンサルタント業務のほか、許可申請書作成等の行政書士業務、エコアクション21審査業務、変わったところでは環境省外郭団体である公益法人から委嘱を受け、全国各地の会場に出掛け「廃棄物の適正処理に係る講習会」講師を務めています。天星とは、先代社長の時代からの長い付き合いになります。再生重油製造事業を行う県内トップ企業として真摯に業務に取り組んでいる姿を見ていましたので、個人事業開始後コンサルタント業務の依頼をいただいた際は、迷いなく受諾させていただいたことを覚えています。早いものでそれから9年が経ちました。今後も皆様の声を聞くとともに、この地域の環境を守りながら、循環型社会の一翼を担う企業として事業発展できるよう、コンサルタント業務に努めてまいりますので、温かくお見守りいただきますようお願いいたします。

No.05 環境保全 Report 【環境測定のご報告】

環 境測定の結果及び社員への教育訓練の実績についてご報告いたします。訓練を通して危機意識を常に持つことで、非常時の際は迅速かつ正確な対応ができるよう日々努めています。

Key Word

- ☑ 防災BCP訓練（9月）
社員全員で構内の防災用品の確認及び防災用具追加案の検討を実施しました。
- ☑ KYT交通安全訓練（10月）
浜北警察署（交通課）による『交通安全講話』を実施しました。
- ☑ 漏油訓練（10月）
敷地内の分離槽の確認、漏油キットの場所の確認を実施しました。

項目	放流水	排ガス
	生活環境項目	
実施日	(2023.8~10)	(2023.6)
測定結果	○	○